[大島特産園芸作物における生産技術振興対策]

大島のトルコギキョウ2・3月出荷における非冷蔵苗の利用

南 晴文・鵜沢玲子・両角正博・鈴木伸栄[®] (島しょ農林水産総合センター大島事業所) [®]現中央農業改良普及センター

【要 約】9月上旬播種のトルコギキョウ非冷蔵苗で、冷蔵苗に比べ品質の劣らない切り 花を得ることができる。冷蔵苗では採花時期が遅れるが、開花は揃う。

【目的】

大島のトルコギキョウ栽培は5月下旬・6月上旬播き11・12月出荷作型であるので、育苗期の高温ロゼット化を防ぐため1ヵ月間の冷蔵処理が必要となる。コスト・労力削減のため冷蔵処理の省略が求められ、これまで11・12月出荷で非冷蔵苗の切り花品質、ロゼット性を比較し、弱ロゼット性の優れた品種を選定してきた。本試験では、単価の高い時期である2・3月出荷を目指した非冷蔵苗の利用について明らかにする。

【方 法】

"一番星"など9品種を供試した(表 1)。2004年 9 月 2 日,684穴ペーパーポット(用土:ガッチリくん花用)に播種し暖房温度20℃で4 葉期まで育苗した。冷蔵苗区は,10月10日~11月9日,10℃24時間蛍光灯照明下で冷蔵した。非冷蔵苗区は10月13日,冷蔵苗区は11月9日,床幅90cm,通路70cm,12×12cmの7条植えでガラス室に定植した。元肥はくみあいレオユーキ(8-8-8)を用いN:P205:K20=3:3:3kg/10aを施肥し,適時液肥(0KF-9号《15-15-15》)で追肥した。調査個体数は,非冷蔵苗区では1品種90株,冷蔵苗区では1品種70株とした。

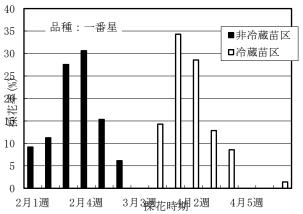
【成果の概要】

- 1) 収穫開始日は、非冷蔵苗区は1月31日~3月3日、冷蔵苗区は3月25日~4月4日であり、非冷蔵苗区の方が早かった(表1)。4月30日時点での未開花株率は、非冷蔵苗区では供試品種全てで0%であり、冷蔵苗区では1~41%であった。
- 2) 採花時期をみると、非冷蔵苗区では、収穫開始から終了まで6~11週間かかった(図 1)。採花が最も多い週の採花率は20~35%であった。冷蔵苗区では、採花が最も多い 週の採花率は22~55%であった。
- 3) 切り花の品質を比較すると、切り花長は9品種中7品種で非冷蔵苗区の方が8~16cm 長かった(表2)。有効蕾数は、9品種中7品種で冷蔵苗区の方が1~3個多かった。 切り花重の非冷蔵苗区と冷蔵苗区の差は、品種により異なった。
- 4)以上より、9月上旬播種の非冷蔵苗区の切り花の品質は、冷蔵苗区と比べて劣らない。 冷蔵苗区では採花時期が3月下旬以降となったが、開花期は非冷蔵苗区よりも揃う。また、本試験では非冷蔵苗区も全て抽苔・開花したが、本年は育苗期後半に日最低気温が20℃以下と低く推移したため(図2)、年次を重ねてロゼット性に対する検討が必要である。

表1 トルコギキョウの非冷蔵苗と冷蔵苗における収穫開始日と未開花株率

品種		種苗会		非冷蔵苗区		冷蔵苗区	
四位 No.	品種名	社名a	早晚性 ^b	V 1 1 1 1 1 1 1	未開花株	収穫開始	未開花株
		17.71		日(月/日) 率 ^c (%)		日(月/日)率(%)	
1	プレルホワイト	्वर्	極早生	1/31	0.0	3/22	40.6
2	ピーターブルーライン2	ムラカミ	早生	1/31	0.0	3/25	27. 5
3	一番星	サカタ	早生	1/31	0.0	3/25	1. 4
4	クリアマリン	ミヨシ	早生	1/31	0.0	3/22	8. 1
5	ネイルスワロー	くヨシ	早生	2/17	0.0	3/31	5. 9
6	あすかの雫	ታ カタ	中生	2/3	0.0	3/25	21. 7
7	マリブライラック	ミヨシ	中生	1/31	0.0	3/25	24. 3
8	カタリーナブルーブラッシュ	₹ ∃ ÿ	中生	2/14	0.0	3/25	7. 1
9	パピオンローズピンク	ミヨシ	中晚生	3/3	0.0	4/4	25. 4

a) ミョシ:(株)ミョシ, ムラカミ:(株)ムラカミシード, サカタ:(株)サカタのタネ b)種苗会社カタログによる早晩性 c)4月30日現在



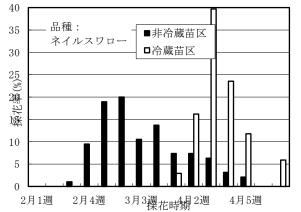


図1 トルコギキョウの非冷蔵苗と冷蔵苗の採花率の推移

表2 トルコギキョウの非冷蔵苗と冷蔵苗由来の切り花の品質

124	「アレーヤイョクの作用版田と国際田田木のカケイにの田貞									
品種		非冷蔵苗区		冷蔵苗区						
No.	切り花長(cm)	有効蕾数 ^a (個)	切り花重(g)	切り花長(cm)	有効蕾数(個)	切り花重(g)				
1	88.2 \pm 6.5 b	5.3 ± 1.1	20.1 ± 4.4	80.5 ± 8.3	7.3 ± 2.3	25.0 ± 7.3				
2	71.8 \pm 6.6	4.3 ± 1.0	20.1 ± 5.0	63.9 ± 8.7	6.1 \pm 2.0	22.0 \pm 8.3				
3	75.8 \pm 8.3	4.1 ± 1.2	19.4 \pm 6.1	66.4 \pm 7.9	4.4 ± 1.3	17.4 \pm 7.3				
4	64.4 ± 7.7	3.6 ± 1.1	13.2 ± 4.1	67. 1 \pm 5. 9	6.6 ± 2.5	25.2 ± 9.4				
5	91. 4 \pm 12. 7	5.8 ± 2.0	30.1 ± 10.1	83.1 \pm 8.0	7.5 ± 2.4	32.9 ± 12.7				
6	76.4 ± 9.0	4.8 ± 1.5	21.0 ± 6.7	60.4 ± 6.9	4.1 ± 1.5	12.1 \pm 4.8				
7	69.1 \pm 6.4	4.3 ± 1.1	18.8 ± 5.9	69.8 \pm 7.6	7.2 ± 1.6	29.8 \pm 9.2				
8	84.0 \pm 8.3	3.6 ± 1.5	36. 3 ± 12.1	74.4 ± 8.4	5.2 ± 1.6	36.8 ± 12.3				
9	67.7 \pm 8.5	2.9 ± 1.1	26.6 ± 8.3	55.6 ± 6.6	3.8 ± 1.4	18.9 ± 8.8				

a)開花数+開花見込蕾数 b)平均値±標準偏差

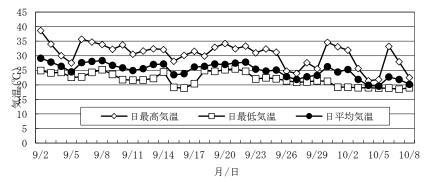


図2 トルコギキョウの育苗管理温度 (2004年)